沈黙（1962）

TYSTNADEN

メディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 スウェーデン
色彩 B&W
時間 94分
初公開日 1964/05/23
公開情報 東和
リバイバル 1978/06［ＩＰ］

【解説】

その濃密な官能描写にわが国では初め成人指定を受けた作品で、「鏡の中にある如く」「冬の光」に次ぐ、ベルイマン＜神の不在＞三部作の終章である。著述業の独身女性エステル（チューリン）は妹アンナ（リンドブロム）とその息子ヨハンと共に汽車で旅行中、身体の不調を訴え、見知らぬ町に降りる。そこはどこと特定されないが、夜中、ひっそり戦車が通りすぎることで東欧ないし中欧の共産圏と理解出来る。エステルは部屋で翻訳の作業にかかるが、虚しさを覚えウィスキーをラッパ飲みし、自慰に耽る。奔放な妹は夜の町に男を求め、自室に連れ込んで愛し合う姿を息子に目撃される。甥にそれを聞かされた姉は、妹の部屋に忠告に来るが、彼女は受け付けず更に行為に没頭する。その背景には、幼少時からの姉妹の反駁があった。優等生でみなのお気に入りの姉、豊かな肉体を持ち行動的な妹……。ショックに容態の悪化する姉に構わず妹は息子を連れ、先を急ぐ。一晩で人間の内側を覗いた甥の心中を察した姉は、彼のため、その国の言葉で“精神”と書いた紙片を手渡す。意味はいずれ自身で悟れ、と。薄気味悪いホテルの中で暗黒舞踏的に跳ね回る小人の一座が、カフカ的なこの映画を更に謎めかせている。

【クレジット】

監督 イングマール・ベルイマン Ingmar Bergman
脚本 イングマール・ベルイマン Ingmar Bergman
撮影 スヴェン・ニクヴィスト Sven Nykvist
出演 イングリッド・チューリン Ingrid Thulin
グンネル・リンドブロム Gunnel Lindblom
ヨルゲン・リンドストロム

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.